

## 行政評価事務事業一覧

### 【まちづくりの目標2\_健康・福祉】

#### 施策 2-2\_地域福祉の充実

基本計画		事業番号	細事業名称
2-02-01	地域福祉意識の啓発と推進体制の充実	03384_01	総合福祉センター施設整備事業
2-02-01	地域福祉意識の啓発と推進体制の充実	03390_01	福祉のまちづくり推進事務費
2-02-01	地域福祉意識の啓発と推進体制の充実	03527_01	民生児童委員活動補助金
2-02-02	地域福祉活動の推進と担い手の育成	03020_01	社会福祉団体補助金
2-02-02	地域福祉活動の推進と担い手の育成	03025_01	遺族会等活動事業補助金
2-02-02	地域福祉活動の推進と担い手の育成	03025_02	戦没者遺族等対策事業
2-02-02	地域福祉活動の推進と担い手の育成	03390_02	生き生き幸せフェスティバル開催補助

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	03384_01		
事業名(行目名称)		総合福祉センター整備事業	細事業名	総合福祉センター施設整備事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	地域福祉の充実			
	基本計画	地域福祉意識の啓発と推進体制の充実	担当課	地域福祉課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	高齢者及び障がい者(児)を含む全ての市民	数値	120351			
	手段(どうやって)	老朽箇所等の改修及び修繕、利用者の新たなニーズに対応した施設整備					
	目的(どんな状態にしたいのか)	総合福祉センター(別子山分館を含む)の適正管理及び施設機能の維持向上					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)		令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		17,882	39,875	39,875	37,388		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債	16,000	35,800	35,800	33,500		
	その他	1,882	4,075	4,075	3,888		
	一般財源	0	0	0	0		
○工事請負費 39,875千円							
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
改修及び修繕の実施		目標値	2	1	1	1	2
		実績	2	1	0	1	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>施設の建設後28年が経過し、老朽箇所や適正な更新時期を過ぎている設備機器が増えているが、建物の構造や工法によりいずれの工事も高額になる傾向がある。必要な設備、更新の優先度を見極め、効率的な維持管理ができるように検討する必要がある。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>高齢者や障がい者の利用が多く、ボランティア団体や福祉団体の福祉活動の拠点施設であるため、利用者にとってより安全で福祉ニーズに応えられる施設を維持する必要がある。施設の改修箇所や設備によっては費用が高額になるものがあるが、本当に必要な設備を整理し、ランニングコストなど長期的な視野で施設の適正維持を図っていく。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)	A:計画通りに事業を進めることが適当					
<p>建築後四半世紀以上が経過しており、修繕や改修が必要な箇所、耐用年数を超え更新が必要な設備などが多数ある中、施設の安全性維持や利用者ニーズなどを考慮し、必要な設備と改修の優先度を整理し、適正でより効率的な保守管理を継続していく必要がある。</p>							

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	03390_01	
事業名(行目名称)		福祉のまちづくり推進費		細事業名	福祉のまちづくり推進事務費		
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策	地域福祉の充実		
	基本計画	地域福祉意識の啓発と推進体制の充実		担当課	地域福祉課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	全市民			数値	120351	
	手段(どうやって)	福祉のまちづくり審議会の開催。審議会における計画実行の確認及び計画の見直し					
	目的(どんな状態にしたいのか)	市民参画による福祉のまちづくりを着実に推進する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		0	117	117	0	○報酬 117千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	0	117	117	0		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
審議会及び推進懇話会の開催回数			目標値	3	3	3	3
			実績	0	0	0	0
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>審議会については、今年度前半は議題がなく開催がなかった。                  推進懇話会については、地域福祉推進計画について協議する会であり、今年度の開催予定はない。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>審議会については、福祉のまちづくり条例及び福祉のまちづくり審議会規則に基づき、継続して設置する。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>令和6年度は、審議会にかかる議案がなかったため実施されなかったが、福祉のまちづくり推進のため今後も継続する。</p>							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	03527_01		
事業名(行目名称)		(施) 民生児童委員費	細事業名	民生児童委員活動補助金			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	地域福祉の充実			
	基本計画	地域福祉意識の啓発と推進体制の充実	担当課	地域福祉課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	民生児童委員・主任児童委員		数値	294		
	手段(どうやって)	民生児童委員、自治会など地域で福祉活動を行っている多様な主体が、行政と協働して問題解決を図っていく体制を強化するとともに地域の特性を生かした地域福祉活動を推進する。					
	目的(どんな状態にしたいのか)	民生児童委員の活動推進					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 500千円	
経費		330	500	500	500		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0			
	その他	0	0	0	0		
一般財源		330	500	500	500		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
民生児童委員研修参加数 (何らかの研修に1回は参加する)			目標値	294	294	294	294
			実績	519	873	489	718
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
コロナ禍で中止されたりオンライン開催のみとなっていた集合研修がほぼ再開された。民生児童委員の地域福祉における役割は大きく、各種研修会に参加することにより、相談支援活動に必要な知識や技術を習得することは必須であるとともに、一昨年度の一斉改選により3分の1以上の委員が交代となったことで、新任委員の研修受講の必要性も高い。							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
独居高齢者の増加、地域での孤立など住民同士の繋がりが希薄になっている中、生活困窮、ヤングケアラー、災害に対する備えなど民生児童委員に求められる役割はこれまで以上に複雑化、多様化している。また、来年度の一斉改選を控え、校区内及び校区を超えた委員同士の交流により、孤独感の軽減や生きがい創造などを図る必要がある。地域福祉推進のため、民生児童委員一人一人の資質向上、協議会としての結束を図り、引き続き研鑽に取り組むものとする。							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A: 計画通りに事業を進めることが適当				
独居高齢者、不登校児童等に対する問題を解決していくなか、民生児童委員・主任児童委員が各種研修等へ参加し、知見を深めることは非常に重要である。また、行政との協働を図っていくうえでも、民生児童委員・主任児童委員の活動に対する補助金の支出を計画通りに進めることは適当であると考え。							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	03020_01			
事業名(行目名称)		社会福祉団体助成費	細事業名	社会福祉団体補助金				
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	地域福祉の充実				
	基本計画	地域福祉活動の推進と担い手の育成	担当課	地域福祉課				
II 事務事業の実施概要								
事務事業内容	対象(誰・何を)	社会福祉団体		数値	12			
	手段(どうやって)	社会福祉団体の活動支援(補助金支出)						
	目的(どんな状態にしたいのか)	地域福祉意識の啓発と推進体制の充実、障がい者への理解と社会参加の促進、障がい福祉サービスの充実、防犯対策の推進などの地域福祉課題の解決を図る。						
III 投入費用								
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース		
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 2,393千円		
経費		2,323	2,393	2,393	2,327			
財源	県・国支出金	0	0	0	0			
	地方債		0	0				
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	2,323	2,393	2,393	2,327			
IV 指標								
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度	
地域福祉イベント参加者数			目標値	5000	5000	5000	5000	5000
			実績	1319	2499	500	2459	—
V 事中評価								
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	高い	効率性	やや高い	
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する					
障がい者に関するさまざまな法律が整備され、障がい者の活動等を市民に理解促進していくことが強く求められており、社会参加が促進されるように関係機関に訴えていく必要がある。								
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持					
地域福祉意識の啓発と推進体制の充実、障がい者への理解と社会参加の促進、障がい福祉サービスの充実、防犯対策の推進などの地域福祉課題の解決を図るため、社会福祉団体と連携しながら、今後も計画通り事業を進めていくことが適当である。								
VI 事後評価								
成果	総合評価(令和6年度)		C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討					
新居浜市聴覚障害者協会など計12団体に活動支援として補助金を支出している。(補助対象経費の1/2 上限あり) 障がい者の社会参加の促進など一定の成果があるものの、各団体の活動内容や収支決算書の状況(特に繰越金)等を精査し、適切な補助金の支出を図る必要がある。								

令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報				事後評価	2024	03025_01	
事業名(行目名称)		戦没者遺族等対策費		細事業名	遺族会等活動事業補助金		
総合計画	まちづくり	健康・福祉		施策	地域福祉の充実		
	基本計画	地域福祉活動の推進と担い手の育成		担当課	地域福祉課		
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	新居浜市遺族会会員			数値	700人	
	手段(どうやって)	各校区の忠魂碑の周辺整備、県遺族大会の参加					
	目的(どんな状態にしたいのか)	遺族会活動の円滑化のため					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	○負担金補助及び交付金 172千円	
経費		172	172	172	172		
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	172	172	172	172		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
遺族会活動への参加者数			目標値	100	100	100	100
			実績	300	300	50	100
V 事中評価							
評価視点		妥当性	高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する				
<p>新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴い、徐々に社会経済活動が再開されているが、遺族会は高齢者で構成される組織であり、市中の感染状況等を見ながら、徐々に各種活動の再開を図ることとしており、今後も遺族会の円滑な活動の推進に向けて支援する。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>戦後79年が経過し、戦争体験者や当時の遺族は減少しているが、恒久平和の推進は今後も必要な取り組みであるため現状維持とする。</p>							
VI 事後評価							
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当				
<p>新居浜市遺族会及び原爆被害者の会新居浜支部の活動に対し、補助金を支出している。戦争のない恒久平和の維持推進を目的に民間主導で実施されており、戦没者遺族援護も含め今後も補助金を支出し、計画通りに事業を進めていくことが適当である。ただし、高齢化で会員数が減少していることから、今後の活動内容の縮小が予想され、金額を見直す必要があると思われる。</p>							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	03025_02		
事業名(行目名称)		戦没者遺族等対策費	細事業名	戦没者遺族等対策事業			
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	地域福祉の充実			
	基本計画	地域福祉活動の推進と担い手の育成	担当課	地域福祉課			
II 事務事業の実施概要							
事務事業内容	対象(誰・何を)	戦没者遺族及び一般市民		数値	500人		
	手段(どうやって)	新居浜市戦没者追悼式実施、愛媛県戦没者追悼式参加、滝の宮慰霊塔の改修工事					
	目的(どんな状態にしたいのか)	追悼式参加者を維持する。					
III 投入費用							
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)			令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額		
経費		196	1,215	1,215	1,108	○委託料 1,115千円 ○使用料及び賃借料 100千円	
財源	県・国支出金	0	0	0	0		
	地方債		0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
一般財源		196	1,215	1,215	1,108		
IV 指標							
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度	令和7年度
新居浜市戦没者追悼式参加者数		目標値	0	600	200	600	200
		実績	0	100	100	100	—
V 事中評価							
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性	やや高い
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向					
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、新居浜市戦没者追悼式は4年連続で開催中止となっていたが、令和6年度は5年ぶりに開催した。戦没者遺族の高齢化等により、参加者が例年に比べ減少しており、今回の追悼式より、開催場所を市民文化センター大ホールから中ホールへ変更した。来年度についても実施の方向で計画している。</p>							
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持				
<p>今後の課題として、戦没者遺族の高齢化などもあるため、委託先である新居浜市遺族会に対し、会場や開催規模、戦没者遺族の孫子など次世代の参加などについて検討協議を促していくが、来年度については、現状維持とする。</p>							
VI 事後評価							
成果		総合評価(令和6年度)	C:事業規模・内容・実施主体の見直し検討				
<p>毎年4月に実施している新居浜市戦没者追悼式及び通年実施している滝の宮慰霊塔の清掃等に対し、補助金を支出している。戦没者遺族援護の観点から、補助金の支出は必要不可欠であるが、委託先の新居浜市遺族会の会員の減少・高齢化から、今後の活動内容の縮小が予想され、金額の見直しを検討する必要がある。</p>							

## 令和6年度事務事業評価表

I 基礎情報			事後評価	2024	03390_02	
事業名(行目名称)		福祉のまちづくり推進費	細事業名	生き生き幸せフェスティバル開催補助		
総合計画	まちづくり	健康・福祉	施策	地域福祉の充実		
	基本計画	地域福祉活動の推進と担い手の育成	担当課	地域福祉課		
II 事務事業の実施概要						
事務事業内容	対象(誰・何を)	市民	数値	120005		
	手段(どうやって)	さまざまな地域福祉団体との協働による生き生き幸せフェスティバルの開催				
	目的(どんな状態にしたいのか)	失われつつある地域コミュニティを再構築し、地域の中でお互いが支え合う地域福祉の推進を図る。				
III 投入費用						
実施年度		令和5年度 決算額(千円)	令和6年度(千円)		令和6年度事業の主な経費(千円)※当初予算ベース	
			当初予算額	年度末予算額	決算額	
経費		500	610	610	504	
財源	県・国支出金	0	0	0	0	
	地方債		0	0		
	その他	0	0	0	0	
	一般財源	500	610	610	504	
○負担金補助及び交付金 610千円						
IV 指標						
成果指標名(計算式)			令和4年度	令和5年度	令和6年度中間値	令和6年度
生き生き幸せフェスティバル参加者数		目標値	3600	5000	5000	5000
		実績	0	3000	3000	3000
			—			
V 事中評価						
評価視点		妥当性	やや高い	有効性	やや高い	効率性
事業が半年経過し生じた課題等		事業の方向	現状のまま維持する			
<p>生き生き幸せフェスティバル・ボランティアフェスティバルについて、本イベントの参加者は高齢者や障がい者、児童等、感染症のリスクが高い方が多いことに鑑み、昨年度から、開催期間を1日から3日へ増加し、参加者の分散により三密の防止を図るほか、今年度からはキッチンカーによる飲食の提供を行うなど、感染症対策と両立する新たな形での開催方式により実施し、多数の方が参加され、地域福祉の推進に大きく寄与したと考える。</p>						
翌年度予算の要求方針(改革・改善案等)		予算の方向	現状維持			
<p>来年度も新型コロナウイルス感染症対策と両立するイベント開催を行うため、現状維持とする。</p>						
VI 事後評価						
成果	総合評価(令和6年度)		A:計画通りに事業を進めることが適当			
<p>新居浜市総合福祉センターで毎年開催している「生き生き幸せフェスティバル」に対し、主催の新居浜市社会福祉協議会に補助金を支出している。例年様々な地域福祉団体が参画し、多数の方が来場していることから、当イベントは地域福祉への理解促進に大きく寄与していると考えられる。今後も計画通りに事業を進めることが適当である。</p>						